

令和7年度「古典探究」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
古典探究		必修	3	GC・文型
教科書 副教材等	新編 古典探究（東京書籍）			

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習概要

文化としての日本語、また、日本語を実際の生活で使用することによって形成されてきた文化的な生活、さらに、古代から現代までの各時代にわたって、表現し、受容されてきた多様な日本語の芸術や芸能などを学んでいきます。小説・詩・短歌俳句・古文・漢文等の文学や、古典に分類される分野を総合的に学ぶことになります。

3 学習方法

(1) 授業への取組

授業は、教材について読み考え記述し、発表する場です。教師が板書することをノートに書き写すだけでは意味がありません。生徒の皆さん一人一人が積極的に参加することが期待されています。

(2) 家庭学習

授業で扱う教材については事前に通読し、読めない漢字や意味の分からない語句については辞書で調べておきましょう。事前に通読するのとしめないのでは、理解に大きな差が生まれます。また、古文教材や漢文教材については、地道な予習が必要です。古語辞典や漢和辞典を調べることに慣れ、文法的知識を身につけ、きちんと解釈する力をつけましょう。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能(①)」、「思考力・判断力・表現力(②)」、「学びに向かう人間性(③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②、③

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能(①)	思考力・判断力・表現力(②)	主体的に学習に取り組む態度(③)
評価基準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめりごと）	考查等
一 学 期	【枕草子】 ・ありがたきもの ・九月ばかり ・中納言参り給ひて ・雪のいと高う降りたるを 【小話】 ・鼓腹撃壤 ・宋襄之仁 【伊勢・大和物語】 ・初冠 ・姨捨 【古体詩】 ・桃夭 ・長恨歌	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 ・文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉える。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 ・さまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	学力テスト① 中間考查 期末考查
二 学 期	【大鏡】 ・道真の左遷 ・道長、伊周の競射 【史記】 ・涇池之会 ・刎頸之交 【源氏物語】 ・光源氏の誕生 ・若紫 【論語】 ・論語三章 ・孟子 ・荀子 ・老子 ・莊子	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉える。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 ・古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとする。	学力テスト② 中間考查 期末考查
三 学 期	【古今和歌集仮名序】 ・やまと歌は 【詩】 ・閑旅雁 ・送夏目漱石之伊予	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉える。 ・本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って登場人物の行動や心情を読み取り、人間の生き方について考える。	学年末考查

